

上北山

吉野熊野国立公園に属する大台ヶ原と大峰連峰の山々に囲まれ、大自然が美しい景観を形成している地区

整備のコンセプト:

森林資源を活かした和佐又山周辺の魅力向上

◆植栽景観の現状の課題

- 和佐又山スキー場上部のゲレンデを植栽区域として見直すとともに、アクセス歩道の活用検討が必要。
- 和佐又山周遊歩道では、道に迫って木々が生えており歩きにくい。

課題解決への主な対応

- 彩り植栽
- 管理道への改修等、和佐又山スキー場アクセス歩道の活用
- 支障木の間伐等、周遊歩道の環境整備

【今後の連携方策】 村、施設管理者等との協働による、安全・快適に利用できる周遊道、視点場形成のための環境整備の推進。

◆エリアの特徴的な景観

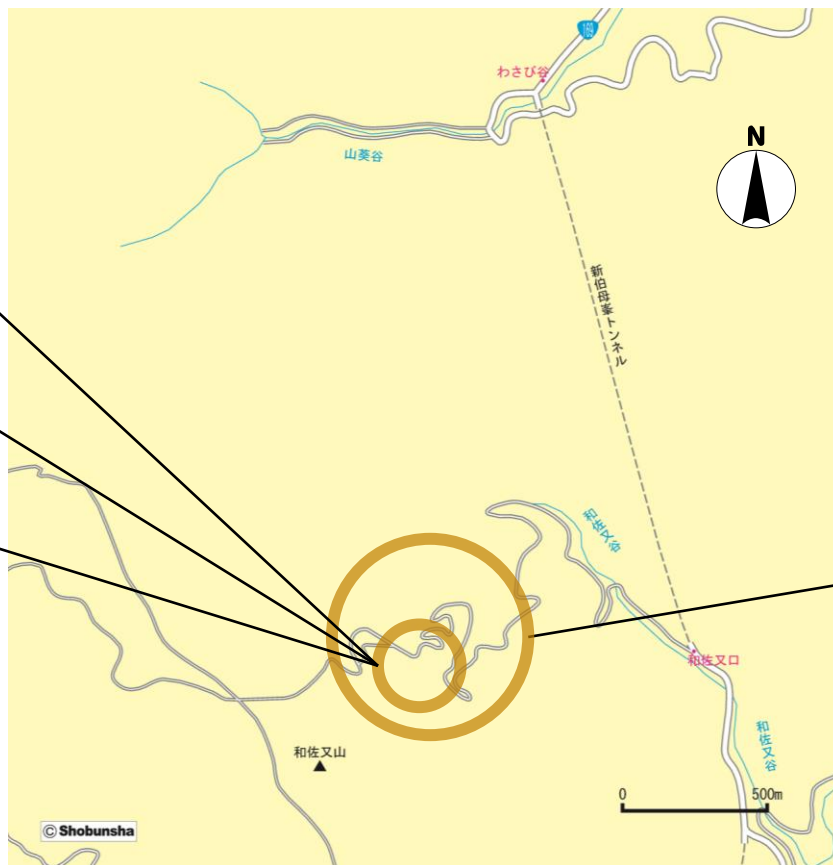
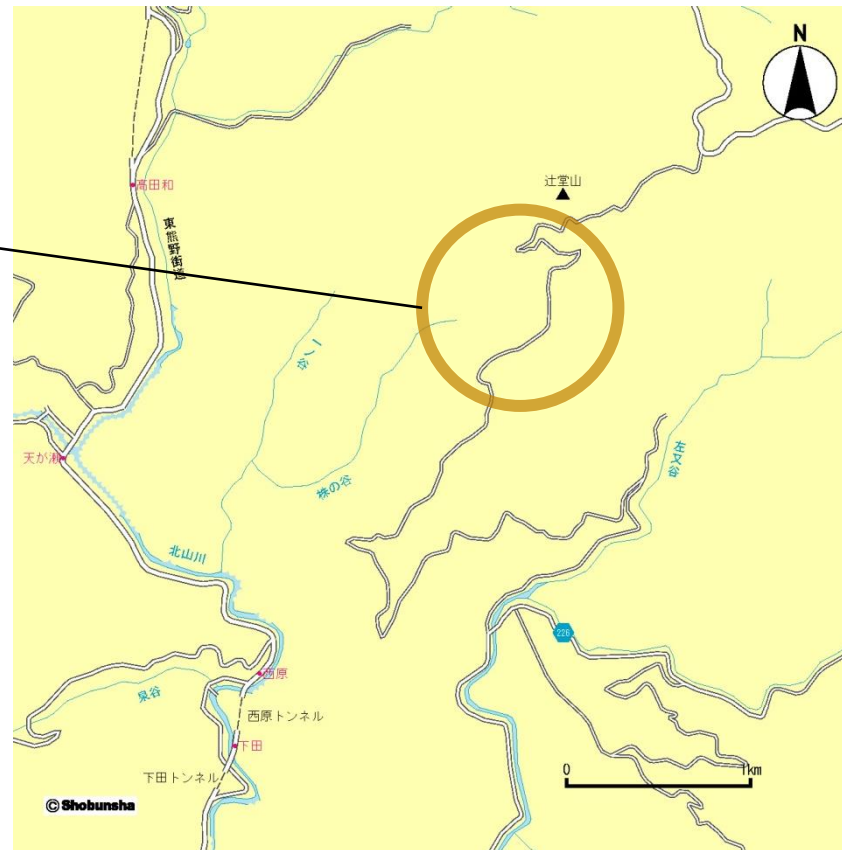


ゲレンデから見る大普賢岳

□大台ヶ原の山裾付近

長期

来訪者にパノラマ景観を楽しんでもらえるよう、支障木を伐採し、大峰山脈の眺望の確保を図る



□和佐又山スキー場ゲレンデ

イメージ図

短期

和佐又山スキー場上部ゲレンデに自生する樹木の植栽により、彩りある景観づくりを図る

短期

和佐又山スキー場上部ゲレンデの植栽木等の管理をするため、歩道を改良して管理作業道としての活用を図る

短期

和佐又山スキー場から大普賢岳を中心としたパノラマの眺望をのぞむ視点場整備により、景観の充実を図る

現況写真



整備イメージ



□和佐又山周遊歩道

短期

利用者が分かりにくい・歩きにくい箇所では支障木等の間伐等により、利用環境の改善を図る

現況写真

